

研究課題名	伝音難聴に関する発生学的検討ならびに術後聴力の検討
研究の意義・目的	難聴は感音難聴と伝音難聴に大別され、特に伝音難聴は空気振動を内耳以降に伝達する伝音器の障害により生じます。伝音難聴はその多くが手術により聴力改善が期待される疾患ですが、先天的な原因も多く、術前に病巣部位を同定することが困難であることも少なくありません。各伝音難聴の発生学的な原因と、過去の手術における聴力の変化を検討し、安全な手術計画の立案や術後聴力の予測因子となる要因を解析、解明します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2003年4月1日～2025年3月31日までに大阪市立大学医学部附属病院の耳鼻咽喉科および森口耳鼻咽喉科を受診され、慢性中耳炎(耳小骨奇形や真珠腫性中耳炎を含む)の診断で伝音再建を含む手術を受けられた方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者基本情報：年齢、性別、診断名、患側、利き手、既往歴、合併症、嗜好歴など ② 血液検査結果(血算、血液生化学検査、血糖値、HbA1c等) ③ 聴覚検査(純音聴力検査・ティンパノグラム)等 ④ 画像検査(頭部CT検査)等 ⑤ 手術時所見(伝音器の障害部位、手術手技、伝音再建の有無ならびに再建材料)
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院耳鼻咽喉科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。森口耳鼻咽喉科にて診療を受けられた方は大阪市立大学へ個人が特定されない状態で情報を提供されます。
この研究を行っている共同研究機関	大阪市立大学大学院医学研究科のみで研究します。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科耳鼻咽喉病態学 角南 貴司子 森口耳鼻咽喉科 森口誠
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科病態学 (担当者氏名) 梶本 康幸 電話番号：(06) 6645-3871 メールアドレス：kajimoto@ent-ocu.com